資料3

スプリンクラー設備の摩擦損失計算例

次式により Kn 又は qn を求め、ln 間の摩擦損失計算を行う (別表参照)。

$$qn = Kn\sqrt{PNn}$$
 $X tt$ $Kn = \frac{qn}{\sqrt{PNn}}$

ここで

qn:n点における流水量

Kn:係数

PNn: qnに作用した静圧で次式により求める。

PNn=PTn-PVn

ここで

PTn:n点における総圧で次式により求める。

PTn=PN (n-1) +PV (n-1) +PF (n-1)

PF (n-1) : ℓ(n-1) 間の摩擦損失

PVn:n点における動圧で次式により求める。

$$PVn = \frac{(VSn)^2}{2g} \times 10^{-1}$$

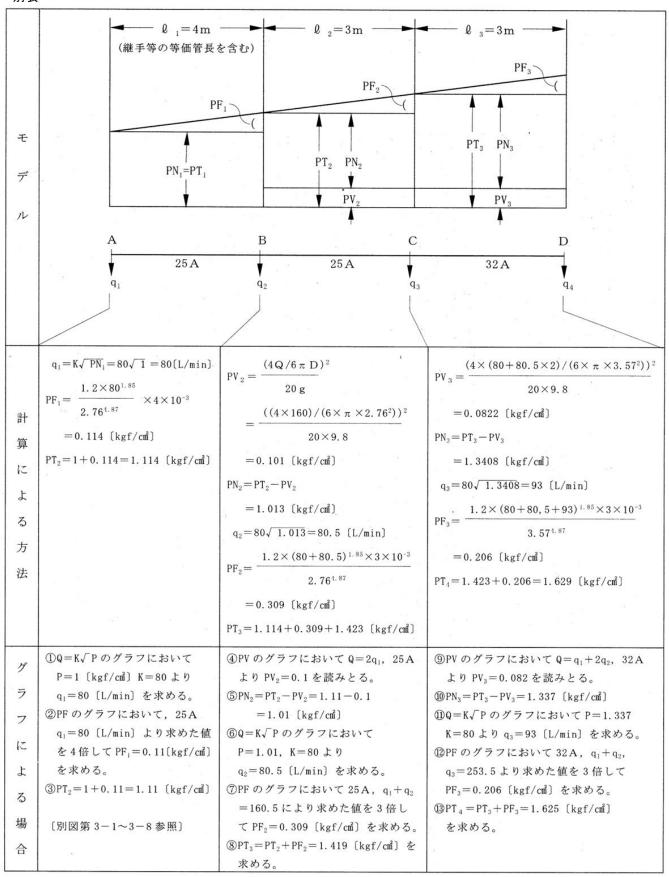
 $PVn : V (a1 + \cdots + an)$

ただし、qn=q (n-1)

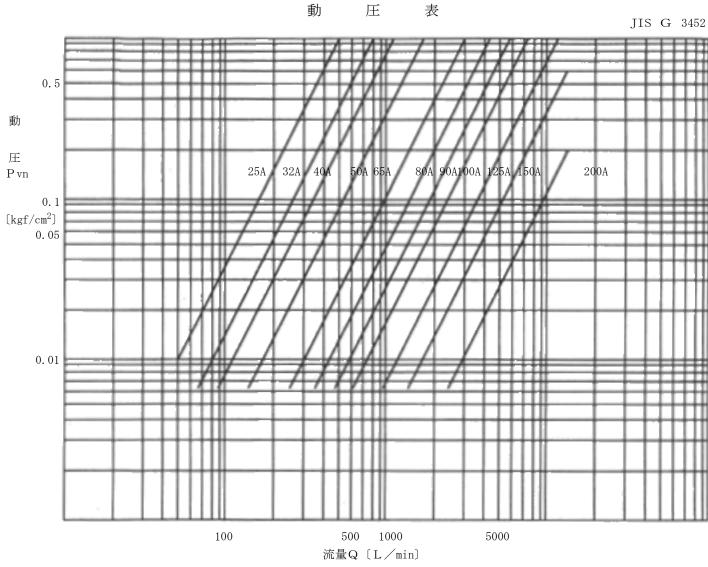
VSn:流速

g: 重力加速度

別表

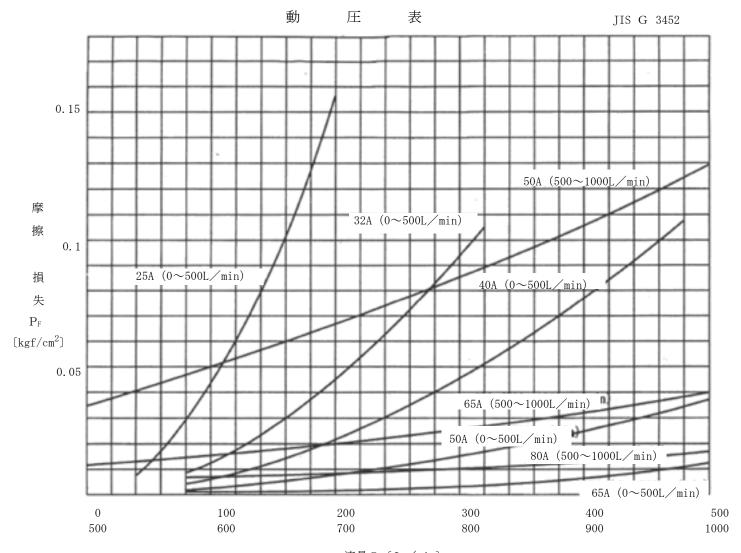


注)「kgf/m²は、SI単位の圧力単位である「MPa」に換算して用いること。



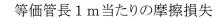
注) $\lceil kgf/cm^2 \rfloor$ は、SI単位の圧力単位である $\lceil MPa \rfloor$ に換算して用いること。

別図第3-1

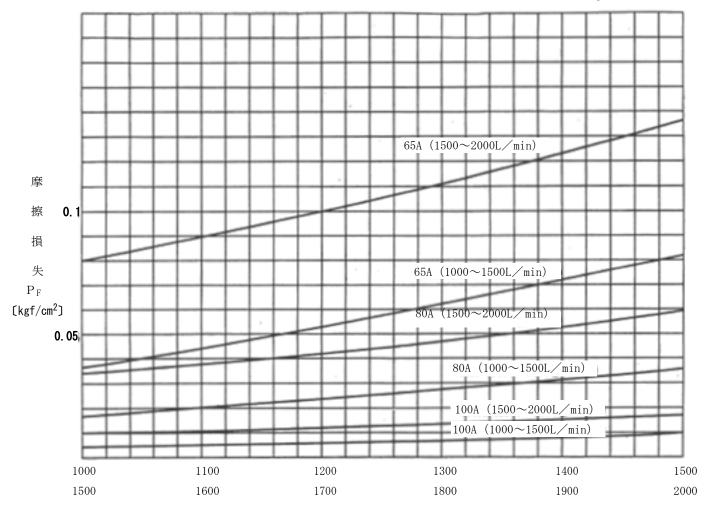


流量Q [L/min] 注) 「kgf/cm²」は、SI単位の圧力単位である「MPa」に換算して用いること。

別図第3-2





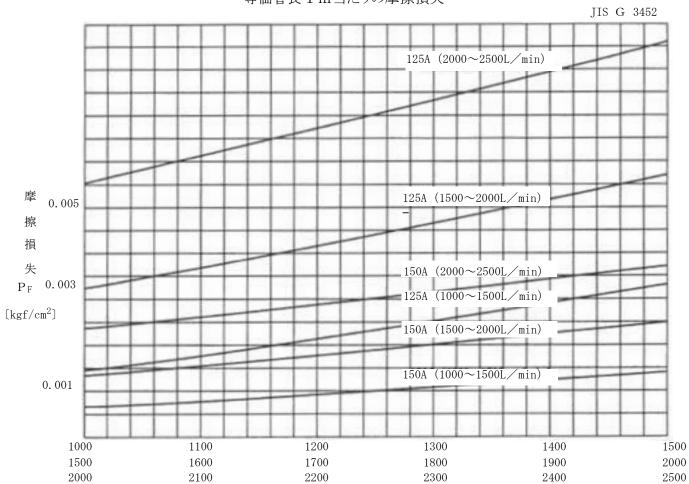


流量Q [L/min]

注) $\lceil kgf/cm^2 \rfloor$ は、SI単位の圧力単位である $\lceil MPa \rfloor$ に換算して用いること。

別図第3-3

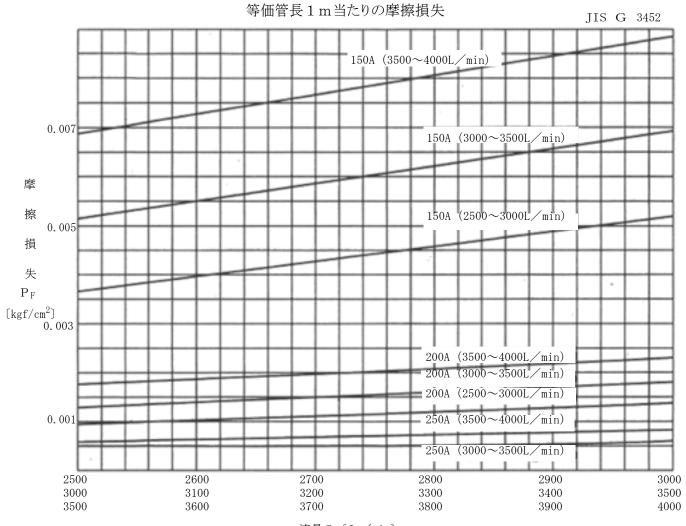
等価管長1m当たりの摩擦損失



流量Q [L/min]

注)「kgf/cm²」は、SI単位の圧力単位である「MPa」に換算して用いること。

別図第3-4

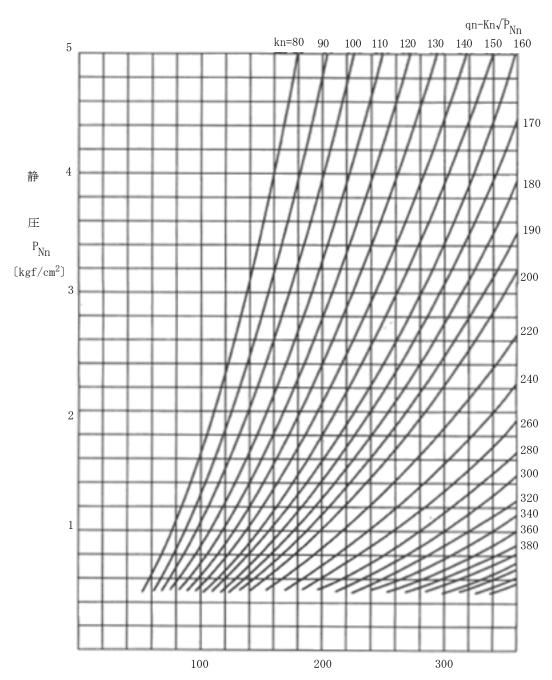


流量Q [L/min]

注) $\lceil kgf/cm^2 \rfloor$ は、SI単位の圧力単位である $\lceil MPa \rceil$ に換算して用いること。

別図3-5

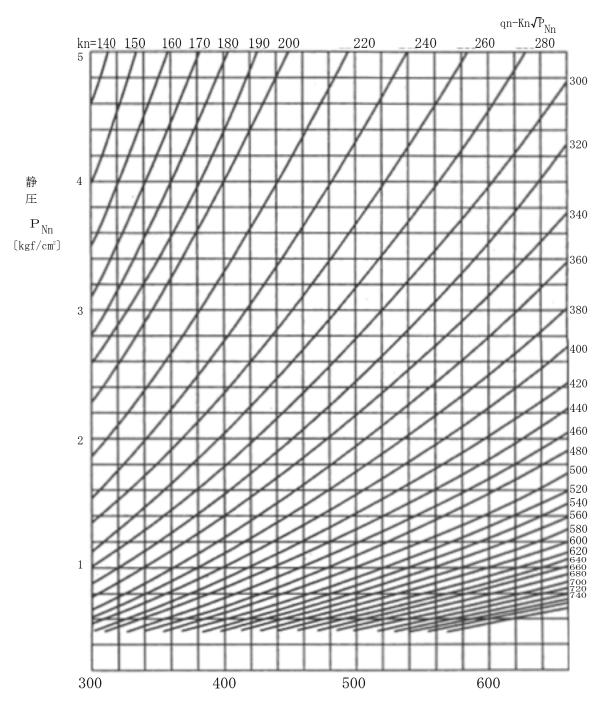
流 水 表



流 水 量 qn[L/min] 注) 「kgf/cm²」は、SI単位の圧力単位である「MPa」に換算して用いること。

別図第3-6

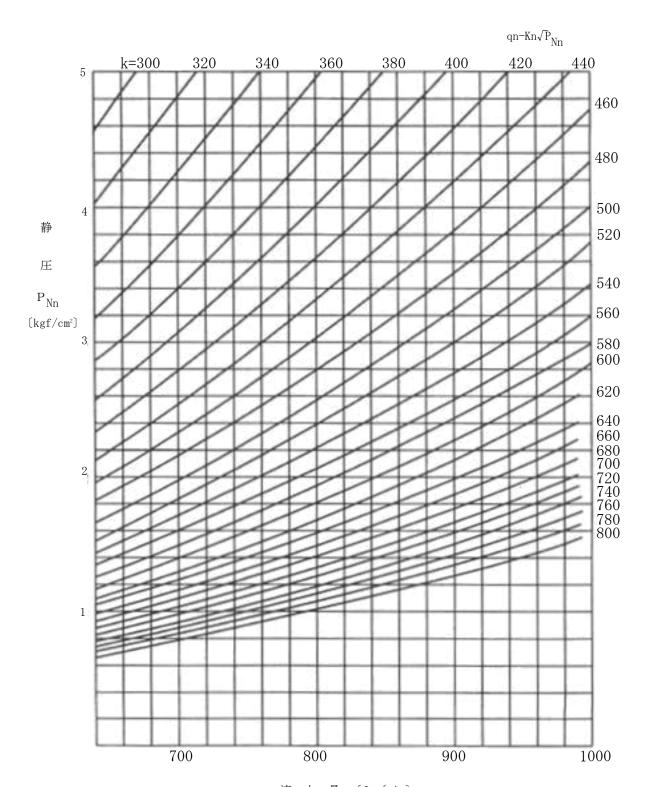
流水表



流 水 量 qn [L / min] 注)「kgf/cm²」は、SI単位の圧力単位である「MPa」に換算して用いること。

別図第3-7

流 水 表



流 水 量 qn[L/min] 注) 「kgf/cm²」は、SI単位の圧力単位である「MPa」に換算して用いること。

別図第3-8